

2月7日
罪の支配する力
ローマ3章9～20節

3:9 では、どうなのでしょう。私たちは他の者にまざっているのでしょうか。

決してそうではありません。私たちは前に、ユダヤ人もギリシヤ人も、すべての人が罪の下にあると責めたのです。

3:10 それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。

3:11 悟りのある人はいない。
神を求める人はいない。

3:12 すべての人が迷い出て、みな、ともに
無益な者となった。善を行なう人はいない。
ひとりもない。」

3:13 「彼らのどは、開いた墓であり、
彼らはその舌で欺く。」 「彼らのくちびるの
下には、まむしの毒があり、」

3:14 「彼らの口は、のろいと苦さで満ちている。」

3:15 「彼らの足は血を流すのに速く、

3:16 彼らの道には破壊と悲慘がある。

3:17 また、彼らは平和の道を知らない。」

3:18 「彼らの目の前には、神に対する
恐れがない。」

3:19 さて、私たちは、律法の言うことはみな、律法の下に
ある人々に対して言われている
ことを知っています。それは、
すべての口がふさがれて、
全世界が神のさばきに服するためです。

3:20 なぜなら、律法を行なうことによって、
だれひとり神の前に
義と認められないからです。
律法によっては、
かえって罪の意識が生じるのです。

10節に

「義人はいない。ひとりもない。」

23節で

「すべての人は、罪を犯したので、
神からの栄誉を受けることができず」
と書かれています。

罪とは何でしょうか。
罪か罪でないか
何が判定する基準でしょうか。

国の法律？

それは時代、ところによって変わる。

国によって罪の基準が異なっている。

あるときは合法であるときは犯罪

あるところでは合法、あるところでは違反。

これは絶対的普遍的な基準ではありません。

森オリンピック組織委員会会長の発言。
「女性がたくさん入っている理事会は
時間がかかる」

これも100年前なら、50年前でも
余り問題にはならなかった。

オリンピックだから問題で
ヒンズーやイスラムの国のように
国によっては問題にならない国もある。

正義、不義の基準は何か

空手教室が再開された。

非接触型の体温計で
参加者の体温を測っている。

余り正確ではありません。

百均で売っているメジャーも誤差があります。

伸縮できるメジャーも

自分には甘く人には厳しい問題の基準です。

二種類の重りは主に忌み嫌われる、

基準がはっきりしていないこと、

二重の基準は問題です。

本当の基準は何か。
体温や長さだけではなく
善悪、正義、不義の変わらない基準は
どこにありますか

マルコ10章17～22節

10:17 イエスが道に出て行かれると、
ひとりの人が走り寄って、御前にひざまずいて、
尋ねた。「尊い先生。永遠のいのちを
自分のものとして受けるためには、
私は何をしたらよいのでしょうか。」

10:18 イエスは彼に言われた。
「なぜ、わたしを『尊い』と言うのですか。
尊い方は、神おひとりのほかには、
だれもありません。」

10:19 戒めはあなたも
よく知っているはずです。

『殺してはならない。姦淫してはならない。
盗んではならない。偽証を立ててはならない。
欺き取ってはならない。父と母を敬え。』」

10:20 すると、その人はイエスに言った。

「先生。私はそのようなことをみな、
小さい時から守っております。」

10:21 イエスは彼を見つめ、その人を
いつくしんで言われた。

「あなたには、欠けたことが一つあります。
帰って、あなたの持ち物をみな売り払い、
貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、
あなたは天に宝を積むことになります。
そのうえで、わたしについて来なさい。」

10:22 すると彼は、このことばに顔を
曇らせ、悲しみながら立ち去った。

なぜなら、この人は多くの財産を
持っていたからである。

イエス様は永遠の命を得るための
基準をお示しになりました。
モーセの十戒です。

10:19 戒めはあなたも
よく知っているはずです。
『殺してはならない。
姦淫してはならない。
盗んではならない。
偽証を立ててはならない。
欺き取ってはならない。
父と母を敬え。』」

父と母を敬え。
殺してはならない。
姦淫してはならない。
盗んではならない。
偽証を立ててはならない。
欺き取ってはならない。

十回の後半の6つ
人間関係を規制する戒め。

まとめると

あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。
(レビ記19章18節)

この人は
「先生。私はそのようなことをみな、
小さい時から守っております。」
と答えています。

まじめな誠実な人かもしれません。
でも戒めの表面的な行いは守っていても
心の中や言葉でどれだけ守れたのでしょうか。
イエス様は情欲を抱いて女を見る者は
すでに心の中で姦淫を犯している、
といわれました。

兄弟に向かって腹を立てる者は
人を殺したことと同じ罪を犯していると
いわれました。

ことばや心まで厳密に調べると
全ての人は行い、ことば、心で
罪を犯しています。

腹を立てる、ムカツと来て、心の中でその
人の存在を一瞬否定するだけでも
殺人と同じとイエス様は言われました。

イエス様はこの青年に
「あなたには、欠けたことが一つあります。
帰って、あなたの持ち物をみな売り払い、
貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、
あなたは天に宝を積むことになります。
そのうえで、わたしについて来なさい。」

10:22 すると彼は、このことばに顔を曇らせ、
悲しみながら立ち去った。なぜなら、
この人は多くの財産を
持っていたからである。

イエス様はなぜこの厳しことを
言われたのでしょうか。
なぜ青年はイエス様について
いけなかったのでしょうか。

十戒の前半があります。

1. あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。
2. あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。
4. 安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。

これをまとめると
「心を尽くし、思いを尽くし、
知性を尽くし、力を尽くして、
あなたの神である主を愛せよ。」
(申命記6章5節)

自分ではなく
お金や地位身分でなく
神様を第一にして
心から信じて信賴していくことであります。

極論すれば
絶対的な神様が与えてくれることを
信じていれば所有物がなくても
安心して生きていくことは出来ます。
神様は日ごとの糧を与えてくださいます。
カラスにも住み家を与えてくださいます。

神様への信頼がなければ
見える物に頼り
財産、身分、所有物が
頼らなくてはならぬ
「神様」になり偶像になっていきます。

青年の問題 1

神様に頼るように見せていて
究極では自分の力、財産、身分に頼っていた、
それを誇っていた、自分中心であった。

青年の問題 2

神様の基準より

自分の基準、価値観、善悪の判断を
優先していた。

全てを失って貧しいみじめな自分に
価値を見出せなかった。

神様の価値基準でなく
自分の価値基準で生きていた。

青年の問題 3

貧しい人より自分を大切にする

自己中心の考え、

自分の財産は自分のもの、

神様からの賜物ではないという

自己中心

究極の心の中には貪欲強欲が隠れている

青年の問題 4

イエスを先生と呼んでいます。

教えを守る努力によって

天国へ行こうとしています。

人をかき分けてでも自分で努力をして

天国へ入ろうとしています。

強者、勝者の原理で行きています。

青年の問題 5

無限の愛の神様を知る、信頼する、
信じるということが分かっていない。

自分しか頼るものはない。

自分を守るために
他者に危害を与えてでも、
自己保身になってしまう。
これが罪の根源であります。

愛の神様を心から信じましょう。
信じないという罪から離れて
日々主を信賴して歩みましょう。
一番大切なことは
全能の愛の神様にお委ねして
生きることです。

祈り

父なる神様。あなた様を信じる信仰に導いてくださったことを心から感謝します。かつては神様が分からず、自分や神でないものに信賴して、自己保身に走っていました。自己中心になり他者に傷を与える罪の道を歩んでいました。根源には神様を信じない罪が諸悪の根源でした。無限の愛のお方、一人子をも与えてくださる愛の神様を心から信じて、また対人関係におきましても神様の愛の中で平和な交わりができるように導いてください。私たちを罪から解放して平和の使節としてください。主イエス様の名によって。アーメン。